

## 生活介護事業所連絡会 会議録概要

名 称	令和7年度 第2回 生活介護事業所連絡会
日 時	令和8年2月4日(水) 13時00分～14時20分
場 所	あいトピア3階 多目的ホール
出 席 者	生活介護事業所ほのか(荻野)、オムれっと(伊藤)、ワークショップ社(杉浦)、障害福祉サービスしろがね(住吉)、ふれあい(鈴木)、生活介護事業所昂(加藤・石田)、あかね荘(村越)、聴覚・ろう重複センターそら(佐々木)、それゆけ!それいゆ(宮林)、ソレイユ(柴田)、シーサイド吉前(塩野谷)、豊橋にしぐち学園(鈴木)、aile(寺澤)、豊橋ちぎり寮(芳村)、よつば工房(田中)、障害者支援施設珠藻荘(岩水)、授産所ふくふく(永井)、生活塾「春日」(夏目)、来夢(菅野・岩尾)、あかね荘障害者生活支援センター(木村)、 <u>相談支援事業所アイルス(川端)</u> 、さざなみ(夏目)、豊橋市役所障害福祉課(伴・亀井)、とよはし総合相談支援センター(浅井・間木) 計28名
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. たくと大府への見学報告</li> <li>2. グループワーク <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化について</li> <li>・利用者の年齢差</li> <li>・送迎について</li> <li>・利用者の生活介護内でのNG項目はありますか?職員のNG項目はありますか?</li> <li>・B型に送り出したことのある事業所はありますか?</li> <li>・利用者の中で自宅から通われている方、GHに入られている方の割合はどんな感じですか?</li> </ul> </li> <li>3. 各グループで出た意見の発表</li> <li>4. 次年度の副会長</li> </ol>
議事内容	<p><b>1 タクト大府への見学報告</b></p> <p style="text-align: right;">(あかね荘障害者生活支援センター 木村氏より説明)</p> <p>○各施設における取り組み事例報告 (あかね荘)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・背景:施設建て替え検討のため、たくと大府の「安心して過ごせる環境整備」を参考に視察に参加。</li> <li>・改善内容:床や窓に頭を打ち付ける利用者の居室に対し、床にマットを敷き、窓をアクリル板に交換して目隠しシートを貼付。室内の物品も整理した。</li> <li>・結果:衝撃緩和に加え、日差しを遮ることで室温調整にも効果があった。</li> </ul> <p>(豊橋にしぐち学園)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約40名中33名が強度行動障害を持つ。</li> <li>・意思決定支援:活動内容を写真カードで提示し、利用者が自分で選んでホワイトボードに貼れるようにしている。</li> <li>・個別化:牛乳パックの個別入れ物や、キャラクターの絵で個人の物を識別できるようにしている。</li> <li>・進捗の可視化:作業完了ごとにカレンダーに印をつけ、達成感を促している。</li> </ul>

- ・環境整備：個室化が困難なため、パーテーションで個別対応スペースを確保。

(昂)

- ・朝の準備を口頭指示からイラストによる視覚的指示に変更。
- ・トイレのタイミングなどをカードで提示するルールを導入。
- ・個室を3部屋作成し、現在2名の利用者が活用している。

(そら)

- ・部屋の角にミラーを設置し、利用者同士の衝突が多い廊下の安全性を向上。聴覚障害のある職員との手話コミュニケーションにも活用。
- ・混雑緩和のため、休憩時に使うタブレットを人の少ない場所に移動。

(ほのか)

- ・視察で多様な自立課題に感銘を受け、「自立課題アイデア集」を事業所で活用。
- ・100円ショップの材料で多様な自立課題を作成し、利用者の行動選択肢を増やすことの重要性を認識。

(ふれあい)

- ・視察先を参考に、用途が曖昧だった部屋を個室化し、利用者の注意を引く物品（電気スイッチ等）を見えない場所へ移動。
- ・結果、利用者の動きが変わり、施設全体が快適になった。

## 2 グループワーク

- ・高齢化について
- ・利用者の年齢差
- ・送迎について
- ・利用者の生活介護内でのNG項目はありますか？職員のNG項目はありますか？
- ・B型に送り出したことのある事業所はありますか？
- ・利用者の中で自宅から通われている方、GHに入られている方の割合はどんな感じですか？

## 3 各グループワークで出た意見の発表

(1グループ)

- ・障害福祉から介護保険への移行基準の曖昧さ、事業所の定員増に伴う送迎負担、引きこもり経験者へのアプローチの必要性が議論された。

(2グループ)

- ・利用者だけでなく保護者も高齢化し、連絡がつきにくい問題や、65歳での介護保険移行時の本人選択の重要性が指摘された。

(3グループ)

- ・高齢化、送迎、デイサービスが共通課題であることを確認。送迎体制の事業所格差も話題になった。

(4グループ)

- ・利用者の障害レベルや年齢層が幅広く活動設定が難しいこと、生活介護とB型事業所の中間的なニーズを持つ利用者の行き先が課題として挙げられた。

(5グループ)

- ・若い利用者の活動に年配の職員が追いつけない問題、異性介助のための男性職員確保の難しさ、環境変化や費用面から介護保険への移行をためらうケースなどが報告された。

#### 4 次年度の副会長

令和8年度の体制として、会長はあかね荘村越氏、副会長はほのか萩野氏となる。

#### 5 その他

(障害福祉課 亀井氏より)

- ・契約内容報告書：11月から市役所への提出が不要となったが、各事業所での作成・保管は引き続き必要。